

岡山大学

大学院社会文化科学研究科

OKAYAMA UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES

- 博士前期課程
 - 社会文化基礎学専攻
 - 比較社会文化学専攻
 - 公共政策科学専攻
 - 組織経営専攻
- 博士後期課程
 - 社会文化学専攻



OKAYAMA UNIV.

世界への扉を開く



Admission Policy

～ 入学者受け入れの方針 ～

博士前期課程においては、最先端の研究に裏づけられた教育を施すほか、多様な分野に関わる複合的・学際的な研究を通して、広く文学・法学・経済学の各分野に通じた高度な知識・能力と技術・判断力を身につけた研究者や専門人の育成をめざすとともに、深い教養と国際的な感覚を身につけ、また物事を多角的に観察・洞察し、柔軟に社会の変化に対応できる能力の向上を図っています。

博士後期課程においては、「共生社会の構築」の理念に基づく、多様で学際的なアプローチからの研究を志向しています。

専門分野に関する基礎学力と柔軟な思考力、豊かな知性と感性を備え未知に挑戦する強い目的意識と探求心を持って、学術研究に意欲的に取り組む気概のある人を、国内外から広く受け入れています。

博士前期課程の組織経営専攻および地域公共政策コースにおいては、企業や官公庁・自治体等の個別具体的な組織の運営・経営のためのより適切な能力を身につけようとする人を受け入れています。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

博士前期課程では、文学部・法学部・経済学部における基礎的専門教育との連続性に配慮したカリキュラムを編成し、今日における新たな教育に対する要請に応えるべく、複合的・総合的・学際的な教育を体系的に提供できる体制が整備されています。組織経営専攻および地域公共政策コースにおいては、地元の企業や官公庁・自治体の現場の経験に触れることができるよう配慮されています。

博士後期課程では、当研究科の理念である「共生社会の構築」等に基づいて、文化、組織、個人、地域社会等を対象にした、多様な、そして学際的なアプローチからの研究を支援する大学院教育プログラムを提供しています。

入試日程

本年の募集から博士前期課程入学試験では、各専攻各講座の研究深化プログラムとリサーチプログラムのいずれかに出願し、選考が行われます。

博士前期課程では、8月と2月に学生募集を実施しており、入試区分は、一般入試、留学生特別入試、社会人特別入試、職業人特別入試があります。

社会文化科学研究科ホームページには、入試日程、募集要項、過去の入試問題、入学試験情報等を掲載しています。

博士後期課程では、2月に学生募集（進学者を含む。）を実施しています。

社会文化科学研究科ホームページには、入試日程、募集要項、入学試験情報等を掲載しています。

（URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/> “入試情報”をクリックしてください。）

本学と協定を締結している海外の大学を卒業（見込みを含む。）した留学生を対象に、外国人留学生海外特別入試を博士前期課程及び博士後期課程で実施しています。



博士前期課程

当研究科には、社会文化基礎学専攻、比較社会文化学専攻、公共政策科学専攻、組織経営専攻の4専攻があります。これらの専攻は、文学部、法学部、および経済学部における基礎的専門教育との連続性に配慮しています。また、今日における新たな教育に対する要請を受け、複合的・総合的・学際的な教育を体系的に提供することができる体制となっています。

社会文化基礎学専攻

哲学・思想文化論講座	西洋近代哲学、現代思想・倫理学、西洋古代中世思想史、日本思想史
表象文化論講座	美学、日本美術史、西洋美術史、近現代美術史、オペラ表象論、文化表象論、メディア表象論、イギリス文芸表象論、ドイツ文芸表象論、フランス文芸表象論
人間行動論講座	心理学、社会学、文化人類学、地理学
法政理論講座	現代政治理論、西洋政治思想史、西洋法史、法哲学、法社会学
経済理論・統計講座	マクロ経済学、ミクロ経済学、社会経済学、制度の政治経済学、統計学、国際経済学

比較社会文化学専攻

日本・アジア言語文化論講座	近現代日本語論、日本語構造論、日本中世文学論、日本近世文学論、日本近現代文学論、中国詩歌論、中国近世戯曲小説論、中国近現代文化論、中国言語論
欧米言語文化論講座	近代ドイツ文化論、現代ドイツ文化論、近代ドイツ文学論、ドイツ文芸学・文学史、近代ドイツ言語文化論、近代フランス文化論、近現代フランス文学論、フランス詩論、現代フランス小説論、イギリスルネサンス文芸論、現代アメリカ文学論
言語情報論講座	個別言語文法論、言語類型論、現代日本語学、社会言語学、談話文法論、英語言語論、フランス言語論
比較国際法政講座	国際私法、国際法、国際政治、アジア法
比較経済講座	欧米経済史、東洋経済史、日本経済史、国際経済論、経済学史、社会思想史
歴史文化論講座	東アジア古代中世史、東アジア近世史、東アジア近代史、東南アジア史、ヨーロッパ中近世史、ヨーロッパ近現代史、日本古代史、日本中世史、日本近世史、日本近現代史、考古文化論、比較考古学

公共政策科学専攻

公共法政講座	憲法、行政法、情報法、税法、政治過程論、行政学、現代政治論
政策科学講座	財政・金融論、公共・応用経済学、雇用・社会保障論
司法政策講座	民法、民事訴訟法、商法、労働法、刑法、刑事訴訟法
地域公共政策コース	環境政策、財政政策、経済政策、情報政策、労働政策、政策分析

組織経営専攻

経営学講座	経営戦略論、リーダーシップ論、人的資源管理論、地域企業論、マーケティング論
会計学講座	財務会計論、管理会計論、コーポレートファイナンス、監査論、税務会計論
組織経済学講座	データ解析、企業経済学

博士後期課程

当研究科の博士後期課程には、社会文化学専攻があります。この専攻には、文化共生学講座(人間文化・社会文化論)、人間社会科学講座(日本文化・比較社会発展論)、政策科学講座(公共政策・現代企業論)の3つの講座があります。ここでは、当研究科の理念である「共生社会の構築」等に基づいて、文化、組織・個人、(地域)社会等を対象に、多様な、そして学際的なアプローチから研究を志向しています。

社会文化学専攻



Contents

～ 二つのプログラム導入(博士前期課程)で、より学びやすく、きめ細かい指導へ ～

▶ 共通のコアカリキュラムで、人文・社会科学の基礎を学ぶ

- 社会文化学基礎論1 1年次前期前半 1単位 全員必修
- 社会文化学基礎論2(文学系・法学系・経済学系) いずれか1単位必修

▶ 研究深化プログラム

専門の講義・演習・特別演習を履修して、学術的でオリジナルな修士論文を作成して修了。

専門分野に係る高度な知識・能力と技術・判断力の修得を目指す学生や、博士後期課程へ進学(進学試験があります)し、博士の学位取得を最終目標とする学生向けのプログラムです。主として、教員や研究者等を養成することを目的とします。

▶ リサーチプログラム

幅広く講義演習を履修し課題演習を経て、特定課題に関わる研究報告書を作成して修了。

職業等に活かせる専門的な知識の修得を目指す学生や、日本語及び日本社会を初めとする多方面の知見の修得を目指す外国人学生向けのプログラムです。主として、高度な専門能力をもった職業人を養成することを目的とします。

- 博士前期課程のどちらのプログラムでも修士の学位を取得できます。
- 社会人・職業人への配慮

昼夜開講制、(一部の授業は土日にも開講)
長期履修制度
WebClassの活用

◆ 詳しくはホームページで紹介しております。 <http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/index.html>

研究 Topics

～ 特色ある研究内容等 ～

▶ 池田家文庫(文)

岡山大学附属図書館では、初代岡山藩主池田光政が寛永9年(1632)に鳥取から岡山城に入城して以来、明治4年(1871)の廃藩置県に至るまでの約240年間の岡山藩のさまざまな藩政資料及び池田侯爵家収蔵の図書類からなる池田家文庫を所蔵しています。領国支配を行っていた藩の藩政資料が一括して残るのは全国でも数えるほどですが、岡山大学ではこうした貴重な学術情報資源を学部・大学院での教育と研究に積極的に活用しています。このほかに美作地域の旧勝山藩の三浦家文書やさまざまな村方文書なども充実しており、地域資料の調査も継続して行われています。原文書と現地に即した生きた地域史研究に取り組んでみませんか。



岡山大学附属図書館所蔵

▶ 地理学(文)

今日、グローバル化が進行するなか、ローカルな地誌学的(地域)研究の重要性が増しつつあります。グローバル化によって生じる地域の現象や課題は、地域間の比較を通して明確なものとなるからです。そのため、世界の諸地域だけでなく日常的な近隣の地域においても多次元からの地域分析が求められます。これまで、人間行動論講座の地理学領域では、近隣の諸都市や産業地域、中山間地域などを事例地域とし、その社会や経済、文化などの地理的事象を解明した研究が多く蓄積されてきましたが、カナダ、アメリカ合衆国、中国の都市やインド、オーストラリアの産業地域などを対象とした研究もあり、多様な地理的事象かつ多様な対象地域において地域研究を行うことが推奨されてきました。この自由度の高い研究環境のもと、近年では、大学教員も輩出しています。地域の動態に関心がある方のみならず、研究者を目指そうとしている方にも最適の研究環境が保証されています。



調査地・ヴァンクーヴァーの都市景観

留学制度

●岡山大学短期留学プログラム

11カ国30大学と授業料等を不徴収とする大学間交流協定を締結しており、これらの協定大学へ日本人学生を派遣しています。

●部局間国際交流協定に基づく交換留学プログラム

社会文化科学研究科と海外の大学と国際交流協定を締結し、学生の留学(派遣・受入)を行っています。
海外の国際交流協定校(中国・韓国・台湾)の数校と双方向学位制度を実施しています。

●大学間国際交流協定に基づく交換留学プログラム

大学全体として様々な学問分野で海外の大学・研究所と国際交流協定を締結し、学生の留学(派遣・受入)を行っています。

●海外派遣学生支援事業

海外の大学に派遣される学生で、学業成績、人物ともに優れている者に対して、奨学援助を行っています。



協定校:中国吉林大学

留学生の声

「日本を体感するメリット」

私は大学時代、日本語を専攻しました。それ以来ずっと日本のことについて学びましたが、日本の生活を未体験であることを残念に思っていました。今回、岡山大学に来て、日本の文化を肌で感じ、日本の法律について学べることは幸運です。留学生活により、日本文化を体験したからこそ、日本人との付き合い方も理解できるようになりました。以前の生活とちがって、今は言語、授業、アルバイト、生活習慣など、何もかも実践を通して主体的に取り組まなければならないのですが、これこそ留学生活の一番のメリットだと思います。幸い、先生と友達の協力のおかげで、毎日楽しく過ごしています。既に中国弁護士資格を保有していますが、将来は中国に帰って、この貴重な経験を活かし、より良い仕事をしたいと考えます。

短期留学制度 邵 婷婷(華東政法大学)

東アジア国際協力・教育研究センター

東アジア国際協力・教育研究センターは、東アジア及びその近隣地域との教育・学術交流の推進、研究成果の国際発信及び国際学術ネットワークの整備と管理等を目的として設置されました。具体的には、国際交流協定の締結や留学プログラムの構築・運営、国際シンポジウムの開催、留学生や留学希望学生へのサポート等を行っています。

学生サポートとしては、留学生への論文執筆支援やランゲージパートナーの紹介、国際交流パーティーの開催等を行っています。また留学生や留学希望学生を対象とした個人相談も随時受け付けています。



「東アジア共生プログラム」のフィールドワークの様子

修了生の就職先(過去3年間)

博士前期課程

【公務員・教員】

岡山県庁/兵庫県庁/岡山市役所/津山市役所/笠岡市役所/明石市役所/岸和田市役所/岡山県古代吉備文化財センター/神戸市教育委員会/倉敷鷺羽高校/岡山理科大学附属高校/松江東高校/神戸星城高校/マナド国立大学

【企業等】

英田エンジニアリング/カイトック/新日本有限責任監査法人/岡山県商工会連合会/岡山情報処理センター/山陽新聞社/三宅孝治税理士事務所/笠岡市竹喬美術館/倉敷医療生活協同組合/中国銀行/ソフトバンク/岡山中央病院/日本郵便中国支社/原田司法書士事務所

博士後期課程

【公務員・教員】

国内: 出雲文化環境部文化財課/同志社女子大学/名古屋経済大学/倉敷市立短期大学/福山大学/北九州工業高等専門学校

海外: 在ポーランド日本大使館 経済部

【企業等】

国内: MIMOCA丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/立命館大学 衣笠総合研究機構

海外: 中国弁護士事務所/江蘇省弁護士事務所事務員/民主進歩党中央党部国際事務部



修了生からの メッセージ



様々な現場で

活躍している修了生の声を聞いてみよう！

岡山大学大学院での五年間

岩崎 真梨子 さん

【八戸工業大学・講師】

博士後期課程 社会文化学専攻 人間社会科学講座 平成24年度修了



大学院では日本語史を専攻し、形容詞性接辞「ばい(子どもっぽいや、ギャルっぽいや)」や「らしい(女らしい、春らしいなど)」の変遷について調査しました。

私は成績優秀な学生ではありませんでしたが、指導教員の先生は、私が自力で研究を進めるのを辛抱強く待ってくださいました。何度もやり直ししながら少しずつ

研究を深めていき、学内外の学会や研究会で発表を重ね、論文を発表しました。また、研究を続けるなかで、尊敬できる多くの仲間に出会えました。

今改めて振り返ると、とにかく周りに恵まれ、全力で生きた5年間でした。私は、幸運にも修了と同時に研究職に就きましたが、これも周りの援助なしには成し得なかったことだと思います。苦しい時間も含めて、本当に充実した日々を過ごせたと感じています。

産官学の輪の中で地域を語り地域を拓こう！

川野 豊 さん

【社会福祉法人岡山市社会福祉協議会事務局長】

博士前期課程 公共政策科学専攻 地域公共政策コース 平成23年度修了



私は現在岡山市役所を退職し、岡山市社会福祉協議会で地域福祉の推進に携わっています。岡山市在職中はまちづくり、市民協働などその時々のかつめ的な分野を担当しましたが、右も左も分からず全くの手さぐりでした。

そんな時に岡山大学に地域政策を研究する公共政策コースが創設されました。

これだと思い門をたたき、3年間同じ思いを持つ自治体職員、県会議員、現役学生に加えコース担当の先生方と法律・政治・経済・経営など様々な角度からの議論を重ね、またフィールドワークを行うことにより、多くのヒントを得ることができました。また職場以外の人的なネットワークが構築できました。

今でも3か月おきの研究会や地域アゴラにおいて、現役学生、OBや先生方と議論に参加し、地域公共政策のトレンドに触れることができ大変感謝しています。

MBAを目指す社会人の方へ

橋本 大志 さん

【中国銀行】

博士前期課程 組織経営専攻 組織経済学講座 平成23年度修了



MBAを取得したいという目的だけでビジネススクールを目指すことは、社会人の方にはあまりお勧めできません。平日の夜間および土曜の授業が中心とはいえ、宿題や事前準備で睡眠時間は削られ、家族と過ごす時間も大幅に制限されます。また、目的のない中でテーマを見つけ、修士論文を

完成させることは困難を極めるでしょう。

一方で、研究を通じて仕事上の課題を解決したいと考えていた私にとって、ビジネススクールはかけがえのない学びの場になりました。授業や先人達の論文を通して得られる知識、背景を異にする他の学生とのディスカッション、各分野で高度な知識を持った先生方からのアドバイスは、日々の業務では得られない気づきを与えてくれました。

知を求めるビジネスパーソンにとって、大学院で学ぶ2年間は、きっと有意義な時間となることでしょう。

自分自身との戦いに勝とう

町田 余理子 さん

【椋山女学園大学・専任講師】

博士後期課程 社会文化学専攻 政策科学講座 平成22年度修了



大学院では民法を専攻し、主に譲渡担保について研究していました。本学研究科の良い点は、学生が少人数であるため、先生方や職員の方々が親和的かつ協力的である点や、さまざまな境遇を持った人たちが在籍しているため、一緒に研究することによって視野を広げられる点が挙げられます。しかし、異なる目的意識を

持っている人たちが集まる場でもあるため、自分自身を強く持つ必要があります。以前、博士後期在学時にヘンリー・A・キッシンジャー博士に質問した際、「自分の信念を持って焦らずに」とアドバイスをいただきました。この経験は、現在大学教員として働くうえでも大変役に立っております。研究は苦しいこともありますが、続けていくことが重要であると思います。ぜひ、向上心を持って自分自身との戦いに勝ってください。

在学生からの メッセージ

日々学びの手応えを実感しています

人との関わりから得られる豊かな研究生活

下前田 冴さん

H26年度入学：博士前期課程 社会文化基礎学専攻 表象文化論講座



岡山大学大学院は、それぞれが自分自身の研究を進めるうえで必要とするものを得られる素晴らしい環境を備えていると思います。まず、授業や個別指導で先生方の幅広い知識から学びとるものが数多くあるのはもちろんのこと、その選択も個々の研究の進め方に合わせて高い自由度をもっておこなうことができます。

また、研究室に集う学生の仲間たちは、一人ひとり扱うテーマこそ違えども、お互いに意見を求めたり相談に乗ったりしながらともに歩むことのできる、とても温かい雰囲気にあふれています。そこには留学生や社会人学生の方も多く在籍し、その交によって得られる情報や経験は自分では知り得ない多種多様で貴重なものであり、なにものにも替え難いです。

広々とした緑豊かなキャンパスの中、そのような恵まれた環境で有意義な研究生活を送ることができる岡山大学大学院に進学してよかったと、日々感じながら生活しています。

楽しく有意義な研究生活

易 程燦さん

H27年度入学：博士前期課程 社会文化基礎学専攻 経済理論・統計講座



経済学に深い興味があるため、大学卒業後、大学院に入り経済学を勉強しつづけることを決心しました。自分が研究したい課題を考えたいうえで、岡山大学に進学することを決めました。しかし、日本に来る前には、これから充実した有意義な生活が送れるのかと不安を抱えていました。

岡山大学に来てから、厳格で真実を追求する先生方、参加度の高いゼミ、数多くの図書文献のおかげで、順調に研究を進めることができそうだと感じました。そして、親切なスタッフ、きれいで心地よい図書館、完備している公共施設はよい学習環境を提供してくれます。また、世界各国からの留学生のいろいろなユニークな思想がここでぶつかり合っています。岡山大学での研究生活は楽しく、有意義です。

これからも気を抜かずがんばって、悔いのない留学生生活をおくろうと思います。

研究環境としての最高の場

大賀 宗夫さん

H25年度入学：博士前期課程 公共政策科学専攻 司法政策講座



私は社会人(司法書士)学生として大学院に在籍させて頂いています。仕事では、法務局、裁判所、弁護士等、様々な人や組織とやり取りする中でときに極めて高度な法的知見が要求されることがあります。しかしながら、私自身は、法学部出身ではなく、学問として法律を学んだこともありませんでした。そのようなこともあり、私自身、スキル向上の必要性を感じていました。

現在、長期履修(3年)で2年間在籍していますが、大学院での授業は少人数のゼミ制、マンツーマンの論文指導等で、当初の想像以上に先生方から密にご指導を頂いています。資格試験対策のように広範な範囲をカバーするのではなく、一定のテーマをじっくりと腰を据えてより深く研究すること、またその研究手法を身につけることができる環境として最高の場であると感じています。

帰ってきました！

富岡 史子さん

H26年度入学：博士後期課程 社会文化学専攻 人間社会科学講座



岡山大学を卒業したのは35年前。法文学部(現文学部)哲学科で心理学を専攻した。卒業して就職するものと思っていたので大学院に進学しようと思ったことはなかったが、卒論を書き上げ、先人のチャレンジの行列に自分も参加するおもしろさを少し味わって、いつかここに戻って来たいなと思いつつ岡山の地を離れた。

…時は流れ、夫の仕事で8年前に岡大のご近所に戻ってきた。この間、日本語教師という仕事の中で、2男2女の子育ての中で、「ことば」や「人間」への不思議さ、疑問が堆積。「チャンス到来、謎解きしよう！」岡大は広い心？でこのような思いを受け止め、好奇心の束を解きほぐし専門用語の付箋をつけ始めた私の瞑想(迷走?)を温かく(たぶん)見守り導いてくださっている。未永くよろしくお願ひ致します…。

ご挨拶

大学院社会文化科学研究科は、人文社会科学系分野における「知」の継承・発展および地域への「知」の還元を目的として設置された、博士前期課程（2年制）と博士後期課程（3年制）からなる区分制大学院です。本研究科の前身は、昭和46（1971）年4月に設置された大学院文学研究科および同法学研究科にまで遡りますが、その後、独立大学院としての博士課程である文化科学研究科への改組を経て、平成18（2006）年4月に現在の社会文化科学研究科となりました。

本研究科は文学部、法学部および経済学部を基礎学部とし、その対象は人文社会科学系のほとんどの学問分野を網羅しています。本研究科の特色は、第1に、それぞれの専門分野における研究を深化させるだけでなく、多様な専門分野の教員を擁することで、学際性と総合性に配慮しつつ、先端的な研究成果にもとづき大学院教育を行っていることです。理論的・基盤的な学問内容を充実・深化させつつ、社会との関係性の深い学問の開拓にも努めています。

第2に、本研究科は、地域に根ざし、地域におけるリーダーとなる人材を育成しています。前期課程の組織経営専攻（ビジネススクール）は岡山県および近隣地域の企業あるいは組織の人材育成を、そして公共政策科学専攻の地域公共政策コースは地域政策を企画・立案できる人材の育成を目指しています。

さらに、第3の特色として、国際交流に積極的に取り組み、欧米やアジア等の諸大学と交流協定を結び、交換留学や教員の学術交流を進めています。平成22（2010）年4月には東アジアの諸大学との交流をさらに進めるために、研究科の附属施設として東アジア国際協力・教育研究センターを開設しました。

このように多様な学問分野を専門とする教員を擁し、地域社会および国際社会との積極的な交流をはかる本研究科は、専門分野の研究を深めたい方、人文社会科学系の学問に興味と関心を寄せる方、さらには自らの仕事のために専門的知識の取得やスキルアップを目指す方々の要望に必ず応えることができます。

現在の日本社会が少子高齢化や地域の衰退、グローバル化への対応などの諸課題に直面する中で、人文社会科学系の学問研究や専門的知識・スキルの取得は、個人や社会にとってますます重要となっていくものと思います。一人でも多くの方々が、こうした困難な課題に立ち向かう志をもち、私たちと共に、本研究科で学び、学問の追求と能力向上への道を歩まれることを期待しています。

どうか未来への扉を自らの手で開けてみてください。

大学院社会文化科学研究科長 佐野 寛

Access



City Map



岡山空港から

●岡山空港2番のりばから岡電バス・中鉄バス「岡山駅西口」行きに乗車、「岡山駅」で下車、その後は岡山駅前からの各種交通機関を利用願います。

JR「岡山」駅よりバスを利用する場合

●岡山駅（西口広場）で岡電バス岡山理科大学線「岡山理科大学行」に乗車し、バス停「岡大西門」で下車し、徒歩で西門まで約2分

●岡山駅（東口）で岡電バス妙善寺線「妙善寺・岡山大学行」に乗車し、バス停「岡大西門」で下車し、徒歩で西門まで 約2分

●岡山駅（東口）で岡電バス東山線「津高営業所行」に乗車し、バス停「岡山大学筋」で下車し、徒歩で西門まで 約9分

※JR「法界院」駅（津山線）からも上記のバス線には乗車できます。（バス停「法界院駅前」乗車）



学 章

岡山大学 大学院社会文化科学研究科

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

お問い合わせ窓口： 岡山大学 大学院社会文化科学研究科 教務学生担当

Tel.086-251-7357・7362

E-mail ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

編 集： 岡山大学 大学院社会文化科学研究科

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/>

岡大 社会文化科学

検索